

CONCERTINO
di
KYOTO

The 23rd Concert



■1981年10月15日(木) ■大谷ホール

主催 才能教育研究会京都支部
後援 イタリア大使館

メッセージ

Apprendo con sincera soddisfazione che Felix Ayo, un violinista di notorietà mondiale, torna ancora una volta in Giappone, dove egli gode già di una vasta e meritata popolarità, per una serie di concerti in diverse città.

E' con grande piacere che estendo il patrocinio dell'Ambasciata d'Italia a questa manifestazione. Il Maestro Ayo ha infatti grandemente contribuito ad arricchire, anche attraverso numerose iniziative ed il suo insegnamento, la vita musicale del mio Paese.

Desidero far pervenire il mio saluto al pubblico giapponese che non mancherà di apprezzare l'alto livello artistico di questa iniziativa musicale ed a tutti coloro, in particolare la Matsuoka Kikaku, che hanno contribuito ad organizzarne lo svolgimento.

Boris Biancheri
Ambasciatore d'Italia

このたび、世界に名だたるヴァイオリニストのフェリックス・アーヨ氏が、既に幅広い人気を得ているこの日本をまた訪れ、各地で演奏会を開かれることを知り、心より嬉しく思います。

イタリア大使館は、このたびの公演を喜んで後援いたすものです。実にマエストロ・アーヨは、その多彩な演奏活動や教育者としての仕事を通して、イタリアの音楽界を一層充実させるのに、多大な貢献をしてられました。

この演奏会の芸術的レベルの高さというものは、皆様には必ずおわかりいただけるでしょう。最後に、日本の聴衆の方々や、松岡企画をはじめとする、本公演の関係者各位に、ご挨拶を申し上げたいと思います。

駐日イタリア大使
ボリス・ビアンケーリ



*Per ricordare al
Kyoto con
Ayo
15.10.81*

フェリックス・アーヨ
Felix Ayo

フェリックス・アーヨは1933年北スペインの工業都市ビルバオ近郊のセスタオで生まれた。父は田舎バンドのクラリネット奏者、叔父はヴァイオリン弾きで、この叔父からヴァイオリンの手ほどきをうけた。ビルバオ音楽院で神童ぶりを発揮、(同時期にヴァイオリンを学んだ仲間には現代スペインの代表的な指揮者、ラファエル・フリユベック・デ・ブルゴスがいる)15才でスペインのコンクールに優勝し、パリに留学するが1年でイタリアに行き、ローマのサンタ・チェチリア音楽院の名教師、レミジオ・プリンチーペの下で腕をみがいた。19才の時音楽院の仲間達とイ・ムジチを結成、以後17年間、バロック音楽を中心に演奏活動をして来たが、現在は、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノでベートーベン・クアルテット・デイ・ローマを主宰している。日本にはイ・ムジチ時代から何回も来ているが、地中海トーンとでも云うべき明るい天高く響き渡る音色で我々を魅了している。



林 峰男

1946年、東京に生れる。佐藤良雄、斉藤秀雄、ギ・ファロー各氏に師事。

1975年、ベオグラード国際チェロ・コンクールで第1位を獲得。

その後、ギリシャ、オーストリア、スイス、日本、スペイン、アメリカ、ポーランド、ユーゴスラビア、韓国、フランス等でコンサートを開く。

現在、ローザンヌ郊外のモルジュに本拠をおき、活動を続けている日本チェロ界のホープである。

Concertino di Kyoto

ヴァイオリン独奏：フェリックス・アーヨ

チェロ独奏：林 峰男

ヴァイオリン

松 村 裕美子
仲 佐 悦 子
田 原 明 子
高 木 泉
円 城 めぐみ
田 中 信 介
田 中 敬 子
西 村 明 男
山 村 美土里 ♪
児 島 エ マ ♪

ヴィオラ

江 村 孝 哉
新 井 覚
参 納 悦次郎 ♪

チェロ

壁 瀬 雅 彦
森 田 健 二

コントラバス

今 村 れい子 ♪

チェンバロ

宮 沢 悦 子

♪印=客員

Seiji, Kotaru

コンチェルティーノ・ディ・キョウト

才能教育研究会京都支部の指導者：新井覚、野村武二、そして京都在住の指揮者：井手章夫が中心となり、同支部研究科の優秀な卒業生たちを集め、1958年に創立した弦楽合奏団である。

以来、井手章夫、高橋利夫、堤俊作の3人の指揮者のもとに活発な演奏活動を続け、フルート・吉田雅夫、ルイ・モイーズ、高橋利夫、オーボエ・丸山盛三、ヴィオラ・河野昌彦、チェロ・斉田出、林峰男、モーリス・ジャンドロン、ピアノ・幸島輝治といった一流演奏家たちと協演してきた、関西に於るアマチュア合奏団としては、ユニークな存在である。

ANTONIO VIVALDI CONCERTO IN SOL MINORE
Per Violino, Archi e Cembalo OP.12 n.1
Allegro / Largo / Allegro
Felix Ayo, Violino

アントニオ・ヴィヴァルディ
ヴァイオリン協奏曲ト短調 作品12 第1番
アレグロ / ラルゴ / アレグロ
ヴァイオリン：フェリックス・アーヨ

CONCERTO IN SI BEMOLLE MAGGIORE
Per Violino, Violoncello, Archi e Cembalo F.IV-2
Allegro / Andante / Allegro
Felix Ayo, Violino
Mineo Hayashi, Violoncello

ヴァイオリンとチェロの為の協奏曲変口長調 F.IV-2
アレグロ / アンダンテ / アレグロ・モルト
ヴァイオリン：フェリックス・アーヨ
チェロ：林 峰男

CONCERTO IN SOL MAGGIORE
Per 2 Violini, 2 Violoncelli, Archi e Cembalo F.IV-1
Allegro / Largo / Allegro
Felix Ayo
Yumiko Matsumura, Violini
Mineo Hayashi
Masahiko Kabese, Violoncelli

2つのヴァイオリンと2つのチェロの為の協奏曲ト長調 F.IV-1
アレグロ / ラルゴ / アレグロ
ヴァイオリン：フェリックス・アーヨ
松村裕美子
チェロ：林 峰男
壁 瀬 雅 彦

Concerti `Le Quattro Stagioni` OP.8
Felix Ayo, Violino

協奏曲集「四季」作品 8
ヴァイオリン：フェリックス・アーヨ

n.1 `La Primavera` in Mi maggiore
Allegro / Largo / Allegro

第1番「春」ホ長調
アレグロ / ラルゴ / アレグロ

n.2 `L' Estate` in Sol minore
Allegro non molto / Adagio / Prest

第2番「夏」ト短調
アレグロ・ノン・モルト / アダージョ / プレスト

n.3 `L' Autunno` in Fa maggiore
Allegro / Adagio molto / Allegro

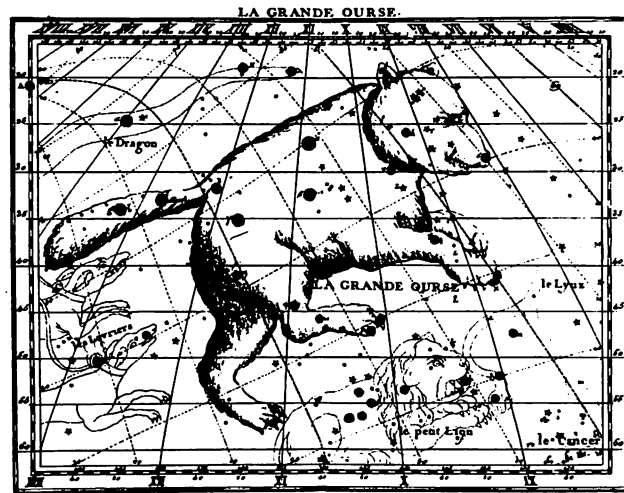
第3番「秋」ヘ長調
アレグロ / アダージョ・モルト / アレグロ

n.4 `L' Inverno` in Fa minore
Allegro non molto / Largo / Allegro

第4番「冬」ヘ短調
アレグロ・ノン・モルト / ラルゴ / アレグロ

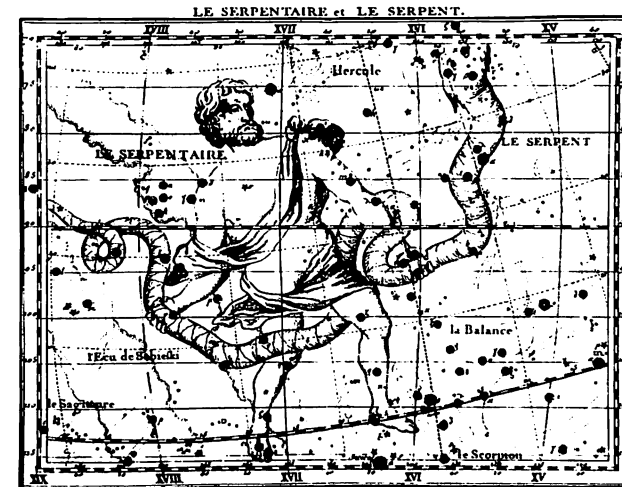
第1番 春 小長調

春が来た。鳥は楽しい歌で春を迎え、泉はそよ風にやさしくさ、やく。黒雲が空を走り、稲妻と雷がおそう。嵐がやむと小鳥は再び歌いはじめる。——花の咲くうらかな牧場では木々の葉がそよぎ、牧人の犬の側に眠る——ニンフと牧童は輝かしい春の日に笛に合わせて楽しく踊る。

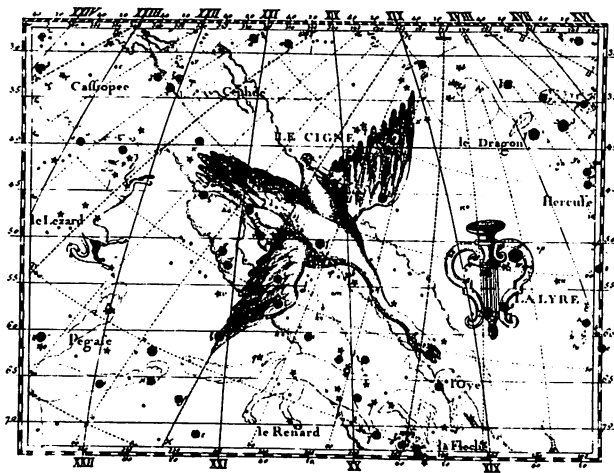


第3番 秋 へ長調

村人たちは踊りと歌で豊作を祝い、酒を飲んでついに眠ってしまふ——祭りのあとには秋の快さが人々を眠りにさそう——夜が明けると狩人たちは犬をつれて狩りに出る。けものは逃げ、狩人は追う。けものは傷つき、力つきてついに倒れる。

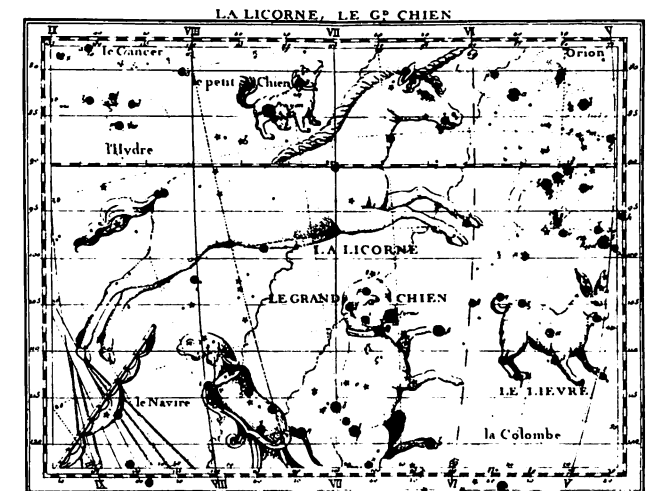


へび座とへびつかい座（フラムスチード星図）



第2番 夏 ト短調

やけつくような太陽の季節には人も家畜も疲れ、松も枯れる。カッコウが鳴き、山鳩やヒワも歌う。そよ風がさわやかに吹く。突然北風がおそい、にわか雨を降らせて牧童を困らせる——牧童は恐れと不安に疲れる。稲妻が走り、雷はとどろく。ハエが群をなしてとびまわる——あ、恐るべき雷と稲妻、それは麦の穂や作物を打ちおとす。



第4番 冬 へ短調

冷たい雪にふるえ、恐ろしい寒風が吹くので、たえず足ぶみをす。あまりの寒さに歯がカタカタと鳴る——暖炉では人々が安らかに過ごしている。外は雨が降っている——氷の上を、ころばないようにそろそろ歩く。急いで歩くとたちまち滑ってころぶ。閉された扉を開いて外に出ると、南風も北風も一緒にあらそって吹いている。これが冬だ。冬にもこんな楽しみがある。

オール電化製品とオーディオの店

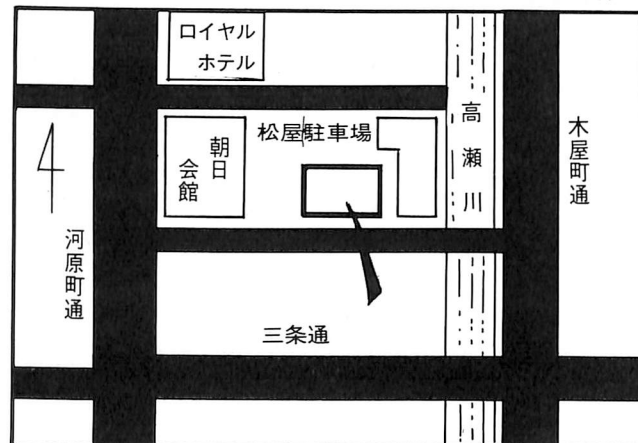
1F 家 電 (231) 4475

2F オーディオ (221) 2334

3F 試聴室

1F サービス (221) 4212

※駐車場完備



●音の館●
アサヒムセン

京都市中京区河原町三条上ル東

京都信販・JCB・UC・DC・ミリオン・住友

YAMAHA PIANO HALL

展示品目 ヤマハ アップライトピアノ……15機種
グランドピアノ……5機種

取扱品目 スタインウエーピアノ (独)
グロトリアン・スタインウェヒピアノ (独)
シュペアハーケ・チェンバロ (独)

マツヨ楽器

ピアノホール / 上京区河原町丸太町下ル ☎222-2211(代)
エレクトーンハウス / 上京区河原町今出川西入ル ☎231-1200



指 揮

古 谷 誠 一

昭和28年、東京に生れる。

東京大学文学部卒業。在学中から、NHK放送オペラ、オーケストラ等の、ピアノ伴奏、指揮を始める。

卒業後、桐朋学園音大で、指揮を小沢征爾、秋山和慶、堤俊作の各氏に、作曲理論、ピアノを故矢代秋雄、三善晃、末吉保雄の各氏に師事。二期会オペラ公演、日本バレエ協会公演、ベルリン・フィルメンバーとの協奏曲の指揮などを務める。名古屋芸術大学講師。